

## 第13回下関市市民協働参画審議会議事概要について

### 1. 開催日時・場所

平成20年4月16日(水) 18:30~19:40

しものせき市民活動センター 大会議室

### 2. 出席者

委員 17名 (欠席3名)

石川啓会長、松尾文子副会長、河野壽昭委員、若松賢一委員、岸田あすか委員、酒井孝之委員、高山剛委員、塩田万希世委員、田中隆子委員、瀬谷時夫委員、岡本浩明委員、藤岡基昭委員、柴田俊彦委員、井上親彦委員、矢野美保委員、岡本かなえ委員、原田雄三委員

市 5名

市民部次長、市民文化課長、市民文化課長補佐、市民文化課主査、他職員1名

### 3. 委員の委嘱式

審議会委員の任期満了に伴い、委員全員に市長より委嘱状を交付した。(委員のうち前川委員・貞光委員・河野浩司委員は都合により欠席)

### 4. 議事概要

「議題1 選考委員の選任について」

事務局：(下関市市民活動支援補助金選考委員会及び選考概要について説明)

本市においては、平成19年度から、事業効果の向上と、市民と市民のパートナーシップを促進するために、市職員による選考審査であった「補助金の審査」に関する見直しを行い、補助採択に際して市民の意見を十分に汲むため、市民審査員4名以内と市職員1名で構成される選考委員会を設置し、公益性・計画性・効果・先駆性・将来性を評価し、補助採択を行ってまいりました。

お手元の「選考概要」をご覧いただきたいと存じます。

(資料読み上げ) 以上でございます。

どうか選考委員会設置の意義と必要性にご理解を賜り、ご就任下さいますようお願い申し上げます。

会長：では、まず立候補者を募ります。希望される方は挙手をお願いします。

委員2名：やります。(立候補)

会長：他に立候補される方はいらっしゃいませんか？

委員2名：やります。(立候補)

会長：4名の立候補となりましたがよろしいでしょうか？

委員：異議なしの声

会 長：ありがとうございました。

事務局：ご審議ありがとうございました。

また、柴田委員さん、藤岡委員さん、矢野委員さん、岡本（かなえ）委員さん、快くお引き受け下さり、ありがとうございました。

各選考委員さんには、5月上旬に申請事業募集終了後に面接による確認（ヒアリング）の日程調整のご連絡をさせていただきます。

「議題2 今後の予定と次回の日程について」

事務局：＜予定・次回日程について説明＞

今後の予定といたしましては、市民活動支援補助金の募集が4月から始まっております。

また、毎年の年次報告につきましても、4月から調整に入ることとしております。

次回の審議会につきましては、その年次報告を議題といたしまして8月を予定しております。こちらについては日程調整がつき次第、開催日等追ってご連絡を申し上げます。

以上でございます。

「議題 その他」

柴田委員：自分の活動情報を紹介していただきたい。よろしく申し上げます。

「第15回土井ヶ浜 弥生まつり」チラシの配布あり

田中委員：裁判員制度の説明会が5月24日13：30から社会福祉協議会であります。皆さんの団体でもいかがですか？よろしく申し上げます。

酒井委員：ふくふくサポート1周年記念イベントを6月に行います。皆さんご協力をお願いいたします。

会長：以上で閉会いたします。

## 第14回下関市市民協働参画審議会の概要について

### 1. 開催日時・場所

平成20年7月28日(月) 18:30~20:00  
勤労福祉会館 第4会議室

### 2. 出席者

委員 16名 (欠席4名)

石川啓会長、松尾文子副会長、河野壽昭委員、前川武子委員、貞光博子委員、岸田あすか委員、酒井孝之委員、高山剛委員、塩田万希世委員、田中隆子委員、瀬谷時夫委員、岡本浩明委員、藤岡基昭委員、柴田俊彦委員、井上親彦委員、原田雄三委員

### 3. 議事概要

「議題1 平成19年度市民と行政・市民と市民のパートナーシップ年次報告について」

#### ①事務局にて年次報告の概要説明

##### ●パートナーシップ関連主要施策の説明

- 1) 市民協働参画の理解促進を目的とした「パートナーシップ研修会」
- 2) 啓発を目的とした「協働わいわい研修会」の実施
- 3) 公益的な市民活動を支援する「市民活動支援補助金制度」の運営状況
- 4) 5月に開設した「しものせき市民活動センター」オープニングセレモニーの実施
- 5) 安心して市民活動を行っていただける環境整備としての「市民活動保険」の運営状況

#### <市民と行政のパートナーシップ項目>

##### ●情報提供・共有の施策の説明

- 「ア. 説明会を開催したもの」 23施策
- 「イ. シンポジウム・フォーラム等を開催したもの」 10施策
- 「ウ. ワークショップを開催したもの」 4施策
- 「エ. 学習会・研究会を開いたもの」 67施策
- 「オ. 広報誌などで詳しく施策の内容を市民に説明したもの」 33施策
- 「カ. その他」 25施策

- 施策の推進に関して市民から提出された意見の件数及び回答状況の説明
  - 「ア. パブリックコメントを行った施策について」 11 施策
  - 「イ. アンケートを実施した施策」 35 施策
  - 「ウ. 市民提案・企画・論文等を募集した施策」 1 施策
  - 「エ. 公聴会を実施した施策」 2 施策
  - 「市長へのはがき・Eメール等」 2 施策
  - 「その他要望等」 6 施策

- 附属機関等における委員構成の状況の説明

7.4 附属機関等の調査

平成19年度における対象附属機関等の公募実施率は18.9%

(18年度21.9% 3%の減)

<市民と市民のパートナーシップ項目>

- 市民活動を促進するための環境整備として実施された施策

- 「ア. 市民活動を促進する情報の収集及び提供」 5 施策
- 「イ. 市民活動の場所の提供」 25 施策
- 「ウ. 市民活動のネットワーク化の促進」 2 施策
- 「エ. 補助金等市民活動を側面的に支援する助成制度」 69 施策
- 「オ. その他」 5 施策

- 市民等と協働を行った施策及び協働の方法

- 「ア. 市民活動団体等へ委託を行った事業」 29 施策
- 「イ. その他市民活動団体と協力して行った事業」 32 施策

<市民活動の現状>

市民活動の状況について、市民活動団体数においては、しものせき市民活動センターにおける団体紹介シート提出団体が年々増加。

活動分野について、「保健、医療または福祉の推進を図る活動」、「子どもの健全育成を図る活動」、「学術・文化・芸術・スポーツの振興を図る活動」、「まちづくりの推進を図る活動」が中心。

団体詳細紹介「ぐ〜んと健康21ネットワークの会」、「NPO法人シンフォニーネット」、「高齢社会をよくする下関女性の会（ホーモイ）」の紹介。

審議会評価について、本日の審議及び提出いただく平成19年度年次報告意見評価を集約しまして、平成19年度の本市における市民参画及び市民活動の現状の審議会評価とし、評価と報告を一对で議会報告、公表を行う旨を説明。

## ②審議

委員：19年度において、何よりも大きかったのは、活動センターの開設ではなかったかと思う。

委員：パートナーシップ関連施策を実施した課所室等が73から70に減っているのはいかがなものか。

事務局：事業の中には単年度のものも多くあり、また、機構改革等により調査対象課所室数は18年度の140から19年度の125へと大幅に減少しています。課所室数としては減少していますが、事務事業数は昨年と同数であり、1箇所室での事業数は増加しています。

委員：平成17年度から学習会・研究会が倍増していますが、理由は？

事務局：平成17年度の1市4町合併によるものです。

委員：実践を伴い、内容が身につくような学習会・研究会の開催を行うべき。

委員：情報の提供と共有を行った施策については、年度ごとの参加者数比較状況はいかがか。

委員：市報（広報誌）は合併後すぐは、旧4町のページが少なかったが今は旧4町の情報も沢山あり、大変良い。

委員：パブリックコメントは広く市民に周知することが大事だと考えるが、意見数としては、どうなんですか？

事務局：パブリックコメントを実施した施策は18年度の12施策から19年度の11施策へと1施策の減少ですが、市民協働参画の推進によって意見の件数については18年度から151件増加しています。

委員：ホームページで小・中学生向けのページを作れば若い世代からの意見が増加すると思われる。

委員：パブリックコメントについては、意見に制約を設けたり、注釈を入れないと、言いたいことを言うだけで、意見ではなくなる。

委員：アンケートについて、年次報告での公表状況・意見反映の掲載は必要ないように思う。

委員：公募を行った審議会委員について、年齢構成・男女比率ともに不均等は僅かながら改善されてきている。

委員：全ての補助金について、きちんとした実施報告を見る機会が欲しい。

委員：支援補助金においては、自立をうながす方向性を持つことが重要であると考えます。

事務局：報告の量の問題（654団体）と公開（プライバシー）の問題があり困難です。

委員：市民活動センターを初めて知った。もっと広報に力を入れるべき。ビルの中にあつて場所がわかりづらい。バイクをとめる場所がない。

委員：団体紹介シート提出団体が225団体もあるのだから、もっと団体への業務委託を進めるべき。

●意見評価提出後、文章化においては会長一任することについて全委員了承

「議題2 その他について」

事務局：市民活動支援補助金の交付状況の説明

藤岡、柴田、矢野、岡本委員の協力を得て選考委員会を設置し、採択検討を行いました。申請31団体、交付決定27団体。

また9月より後期募集を行いますので引き続き、ご協力とPRをお願いいたします。

選考委員：前期の選考を終えて、感じたことは、

- ①市に事務局があるような団体へ何年も継続して補助することについては、考え直すべき。
- ②県（きらめき財団）は限度額500万円の補助制度などもある。市民活動センターでの分かりやすい周知が必要。
- ③補助申請について旧4町でのバラツキが大きい。
- ④山を越えて同じようなことをしている団体が多い。
- ⑤情報ネットワークが重要。（特に中山間地域）

○田中隆子委員から、高齢社会をよくする下関女性の会（ホーモイ）が主催する「おひとりさまの老後を支えるしくみ」のチラシの配布がありました。

○酒井孝之委員から、しものせき未来人ネットワークが県の委託事業を受託した旨報告があり、参加・協力のお願いがありました。